

## 令和6年度 日南市立北郷小中学校 学校関係者評価書

学校の教育目標：確かな学力、豊かな感性、強い体をもち、21世紀をたくましく生きる児童生徒の育成～幼小中一貫教育の推進と保護者・地域との連携を重視した学校運営の確立～

本年度重点目標：①確かな学力の向上（知）②豊かな感性を育む教育の充実（徳）③体力向上・健康安全教育の充実（体）④特色ある幼小中一貫教育の推進⑤学校・家庭・地域が一体となった教育の充実

※ 4段階評価・・・4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	評価指標	方策・手立て	ゴールイメージ	自己評価			運営協議会委員評価	総合評価	結果考察・分析及び改善策等
				児童生徒	保護者	教師			
① 確かな学力の向上（知）	1 宮崎県が推奨する「ひなたの学び」を踏まえた主体的で深い学びの推進を図る。	・相互授業参観の実施 ・協働的な学びの研究・実践 ・小中合同による学力調査結果分析、考察、対策の協議	1 タブレットなどのICT機器を活用して、興味関心をもたせ、わかる・できる授業づくりに努めている。	3. 8	3. 8	4. 0	3. 6	3. 6	・「協働的な学びの在り方」について相互参観授業を実施し、お互いの授業について意見交換を行ったことで授業改善に努めることができた。
	2 家庭学習の習慣化と充実を図る。	・家庭学習の手引きの活用 ・学習課題の見届け ・学級懇談における保護者への啓発	2 基礎的な学力を定着させるために、家庭学習の充実を図っている。	3. 5	3. 3	3. 7			・各学級、教科において家庭学習の見届けを徹底し、基礎的な学力の定着を図った。
② 豊かな感性を育む教育の充実（徳）	1 道徳・人権教育を通して、思いやりの心を育てる。	・道徳科の指導の充実 ・人権教育週間の充実 ・学級活動（NCP）の充実 ・スクールワイドPBSの浸透	3 道徳、学級活動の授業等を通して、豊かな人間関係づくりや思いやりの心を育む「心の教育」の充実を図っている。	3. 8	3. 5	4. 0	4. 0	3. 9	・児童生徒が主体となる活動を充実させたことで、自分たちで決めたことを実践するという意識が高まってきた。 ・言葉遣いについて、さらに充実した指導を行っていく。
	2 SDGsの学習や豊かな体験活動や日南ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる。	・総合的な学習の時間の充実 ・みどりの少年団活動の実施 ・異学年間交流活動の充実 ・地域の自然や産業の学習 ・伝統芸能の継承と発表会	4 4年生におけるみどりの少年団活動、総合的な学習の時間豊かな体験活動（梅ちぎり、茶摘み、田植え、芋掘り、シーカヤック、伝統芸能）を通して、郷土愛を育てる「ふるさと学習」の推進を図っている。	3. 7	4. 0	4. 0			・豊かな自然や地域人材を活かした活動の充実を図った。また、地域に伝わる伝統芸能の継承を図る活動を行い、学習発表会で披露することができた。
③ 体力の向上、健康安全教育の充実	1 自他の命を大切にする児童生徒を育成する。	・「命の大切さを考える日」の設定、授業・講話の実施	5 早寝・早起き・朝ごはんの奨励と給食時の食育指導を行うと共に、道徳や学級活動の授業を通して、生命・人権尊重の精神を育てる教育に努めている。	3. 3	3. 5	4. 0	3. 8	3. 7	・命の大切さを考える日を設け、道徳、学級活動の授業実践を行った。 また、他機関と連携を図りながら、学校保健委員会で保護者への啓発を行った。さらに、栄養教諭と連携した具体的な給食指導を行うことができた。
	2 基本的生活習慣の確立に努める。	・栄養教諭と連携した食育指導 ・「弁当の日」の実施 ・保護者への啓発 ・給食だよりの発行							
	3 健康教育・安全教育の充実と体力の向上を図る。	・定期的なフッ化物洗口の実施 ・交通安全教室の実施 ・計画的な避難訓練と救命講習法の実施 ・メディアに関する指導の充実	6 災害に対応した計画的な避難訓練の実施を行い、アクションプランの見直しを図る。また、体育の授業、業間運動や部活動を通して、体力の向上に努めている。	3. 0	3. 5	4. 0			・不審者対応訓練については、警察の指導を仰ぎながら2回実施した。 ・メディアとの付き合い方について外部講師を活用し、児童生徒、保護者に啓発した。保護者の参加が増えるようしていく。
④ 特色ある幼少中一貫教育の推進	1 幼小中一貫教育の推進のため、交流活動や研修を図る。	・保育所との合同研修会の実施 ・一貫教育運営部会の開催 ・幼小中の交流活動の実施	7 幼小中一貫教育を推進するため、園児・児童・生徒の交流活動の充実を図るとともに職員間の情報交換を行っている。	3. 8	3. 9	3. 8	4. 0	3. 9	・月一回の運営部会とともに夏季休業中・冬季休業中に合同研修会を行い、保育園から中三までの一貫した取組を行なうことができた。
	2 英語への興味関心を高め、コミュニケーション能力の育成を図る。	・教育課程特例校としての工夫 ・シンガポール交流活動の充実 ・英語検定試験の奨励	8 豊かな国際感覚を身に付けた児童生徒を育成するために、シンガポールとの交流活動や英語検定の受検を奨励し、英語教育の向上に努めている。	3. 9	3. 4	4. 0			・今年度は、セント・ゲイブリエル中学校を招いての交流、また、中学校生徒が同校を訪問しての交流を行い、国際理解の充実を図ることができた。
⑤ 学校・家庭・地域が一体となった教育の充実	1 学校運営協議会を通して、PDCAによる学校運営を行う。	・児童生徒、保護者、教職員による学校評価 ・学校運営協議委員による評価	9 学校運営協議会、まちづくり協議会、PTAと連携した学校運営に努め、保護者や地域の方への案内（行事等）は、マチコミメールで迅速に伝えると共に、学校の情報は学級通信やホームページ等で情報の発信に努めている。	3. 0	4. 0	3. 7	3. 7	3. 7	・学校運営協議会、まちづくり協議会とも連携を図りながら地域に根ざした児童生徒の育成を行うことができた。 ・ホームページを通して学校での様子を発信することができた。また、緊急連絡については、マチコミメールを使って迅速な連絡に努めた。
	2 積極的な情報発信を行い学校・家庭・地域の連携を図る。	・「学校だより」の発行 ・ホームページの更新と活用 ・マチコミメールの活用							
	3 地域学校協働活動の充実を図る。	・地域コーディネーターを中心に高齢者クラブ・JA・公民館長等、関係機関との協働体制の構築	10 地域コーディネーターを中心に、地域人材（民生委員・児童委員や自治会長なども含む）を積極的に活用している。	3. 9	3. 8	4. 0			・地域支援コーディネーターのご尽力により、学校と地域・社会と連携した授業実践の充実が図られた。

